

平成 31 年度 北海道利尻高等学校 学校経営シラバス

本校のミッション（使命）	校 訓	目指す生徒像（学校教育目標）
○未来を力強く生きる社会力を持った生徒の育成 ○郷土を愛し、利尻島に貢献する人材の育成 ○地域資源を活かした特色ある教育活動の実践 ○普通科・商業科の特色を生かした教育の推進 ○地域や他校種との連携の核となる情報発信と活動の推進	醇 風 剛 健	○常に努力し、意欲をもって生活を切り拓く人 ○たくましい体とゆたかな心をもつ人 ○ひたいに汗し、協力して働く人

目指す学校像（学校経営方針）

教職員の協働と保護者・地域との連携により、生徒に豊かな人間性を育む

- 教職員一丸となった指導で生徒の可能性を広げる活力ある学校
- 生徒に社会力や愛郷心を育む信頼される学校
- 保護者・地域との相互理解に努める開かれた学校
- 普通科・商業科の役割を明確にした特色ある学校

領域	対象	重点目標	中期目標	今年度の目標	目標達成のための具体的取組（評価の観点）	
教 育	全 般	豊かな人間性や社会性・愛郷心を育成する教育活動の構築	○ 主体的に在り方生き方を考える意識の育成 ○ 社会で生きる上で重要な力(社会性・利他の心・愛郷心など)の育成	1 総合的な探究の時間を中心に目指す生徒像への働き掛けの継続 2 様々な場面での生徒に目標を浸透させる工夫や評価方法の工夫 (3 学校規模変更への対応)	1a ふるさと教育、健康・安全教育、キャリア教育の三本柱からなる総合的な探究の時間を手探りながらも実施し、課題の整理を行い、次年度以降の改善につなげる。 1b 教科においても目指す資質能力を意識した指導を行う。 1c ボランティア活動を推進し、単位化の検討を行う。 2a 各種活動での適切な評価・支援により自己有用感を高める。 (3a 学校規模の変更に伴う対応の検討)	
						学習意欲の喚起と学力向上
	活 動	生徒指導	多様性を認め自他を尊重する豊かな人間性の育成	○ 好ましい人間関係を構築する能力の育成 ○ 社会生活を営むための基本的生活習慣の定着と人間性の涵養	1 他者との相互理解に基づく安心して通える学校づくり 2 適切なインターネット利用を促す指導の充実と保護者、地域との連携	1a いじめや不登校を未然に防止する教育活動を意識化し、生徒のコミュニケーション能力、人間関係構築力を育成する。 1b 時宜を得た教育相談やアンケート等により生徒の状況について共通理解を図り、生徒理解に基づく生徒指導を行う。 2a 今日のSNS・ネット利用の課題を踏まえ、多様性の理解やいじめ問題など社会性に関わる指導を充実させるとともに、保護者への啓発、地域との連携を図る。
	学 校 運 営	健康安全指導	健康や安全、命の大切さに関する指導の推進	○ 命と健康を大切にす 指導の充実 ○ 防災意識及び対応能力の向上	1 生徒一人一人の状況の把握による共通理解ときめ細かな配慮 2 自らの安全確保と地域の人々の安全への貢献	1a アレルギーや学校生活上の悩み等、生徒の状況を全教職員で情報共有し、きめ細かく配慮する。 1b 自他の命の大切さについての指導を様々な場面で行う。 2a 防災訓練（火災、地震・津波）や救急救命講習等を通して災害時、緊急時の対応能力を培う。 2b 災害時の想定等、安全教育とともに他を思う心を育成する。
信頼される学校づくり						
組織運営		ミッション・経営方針等の共通理解による協働体制の構築	○ 経営参画意識の向上による協働体制の構築 ○ 経験年数等に応じたワークライフバランスの実現	1 ミッションや重点目標など教育計画の共通理解の推進 2 時間外勤務の縮減とチーム力向上の両立	1a ミッションの共通理解や「報連相」の強化により教職員のベクトルの方向をそろえ利尻高校のチーム力向上を図る。 2a 経験年数やライフステージを考慮した役割分担や適切な支援等の推進により業務の平準化を図る。 2b 学校閉庁日・定時退勤日・時間外勤務縮減週間・部活動休養日等により、時間を意識した仕事の進め方への意識を高め、より効果的な教育活動の実現を図る。精選も意識し業務を推進する。	
	教員の資質向上	○ ミッションを理解した上での研修の推進	1 ニーズや学校課題を捉えた校内研修の実施と研修機会の積極的な創出	1a 新学習指導要領等自己の研修課題を意識し研修を推進する。 1b 校内外の研修への積極的な参加や研修報告の工夫などにより研修機会を充実する。		